

新着図書からおすすめの5冊

毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日7月30日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、8月6日（火曜日）からです。

『LEAN IN』

シェリル・サンドバーグ／著、日本経済新聞出版社／刊、請求記号：335.1 / Sa,62

内容：女性のポテンシャルをすべて引き出し、自分の幸せとキャリア上の成功を手に入れるための方法とは。会社での交渉術、メンターの見つけ方、よいキャリア設計などの実際的なノウハウを、フェイスブック最高執行責任者が伝授する。

著者紹介：フェイスブック最高執行責任者(COO)、取締役。フェイスブックに加わる前は、グーグルでグローバル・オンライン・セールスおよびオペレーション担当副社長、財務省首席補佐官を歴任。

『日本一の給食』

佐々木 十美／著、学研パブリッシング／刊、請求記号：374.9 / Sa,75

内容：「日本一」と呼ばれる北海道置戸町の学校給食をつくり上げた管理栄養士・佐々木十美さんの「食を通じて伝えたい思い」を一冊に。日頃考えてきたことや、おいしい給食を作るための秘密を語る。給食名物・カレーのレシピも公開。

著者紹介：1951年北海道生まれ。名寄女子短期大学栄養学科(現・名寄市立大学)卒業。置戸町学校給食センター栄養士、置戸町立置戸小学校栄養教諭を経て、同町「食のアドバイザー」として活動する。

『ひんやり氷の本』

前野 紀一／著、池田書店／刊、請求記号：451.6 / H,61

内容：おいしくて不思議な氷の世界へようこそ! おいしいかき氷のかき方や氷を使った料理、氷を料理で活かす方法、おうちでできる氷の実験、日光の山中にある松月氷室での氷づくりなどを紹介します。

『子どもうそ、大人の皮肉』

松井 智子／著、岩波書店／刊、請求記号：810.1/ Ma,77

内容：一見会話らしいやりとりができる3歳児。だが、ことばで自分の意図を伝え、相手の意図を正しく理解できるようになるのは、まだ何年も先のこと。発達途上の子どものことばを手がかりに、伝わる理由・伝わらない理由を探る。

著者紹介：ロンドン大学ユニバーシティカレッジ文学部言語学科博士課程修了(言語学博士学位取得)。東京学芸大学教授。専門は認知科学、語用論。市河賞受賞。

『世紀の名作はこうしてつくられた』

エレン・F.ブラウン ほか／著、一灯舎／刊、請求記号：933.7/ B,77

内容：90カ国以上で翻訳されたマーガレット・ミッチェル作「風と共に去りぬ」。法律が未整備の時代に著作権などを守った著者の活動をはじめ、多大な利益を生み出していく激動の年月にもスポットをあて、小説の全軌跡を描く。

著者紹介：フリーライター。2011年ヴァージニア州女性記者協会の年間表彰で最優秀賞を2部門(専門記事、専門ウェブサイト記事)で受賞。